



大阪府議会9月定例会本会議一般質問(10月1日)



本会議場で一般質問する内海府議



府政の課題について質問

「支える手を、もっと近くに」

見えにくい障がいと向き合う支援が前進

質問 高次脳機能障がいの支援の現状と今後の方向性について伺う。障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、支援の体制を整備するとともに、社会の中で高次脳機能障がいの理解を深めることが必要ではないか。

答弁 子どもの高次脳機能障がいに関する調査を行った結果、子どもへの支援を進めるべく、早期の支援につながるための啓発ツールを今年度作成し、それらも活用して普及啓発の取組みをさらに進めて行く。

また、人材養成と合わせて地域支援ネットワークが全ての圏域で整備されるよう支援の基盤づくりを進めて、高次脳機能障がいのある人が身近な地域で安心して生活していただけるよう、支援の充実に取り組んでまいる。

府立高校で“心の居場所”づくり

質問 府立高校で実施している校内の「居場所」事業については、様々な課題を抱えた生徒を早期発見、早期支援につなげ、中途退学や不登校を未然に防止する非常に有効な取組であると認識している。不登校支援に関わって府立高校の居場所事業について伺う。

答弁 「居場所」を必要とする生徒が充実した日々の学生生活を送ることができるよう、各学校や運営主体となるNPO等との連携を深め、効果的な事業の運用に取り組んでまいる。

性暴力被害者を支える 府の新たな支援体制

質問 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターについて今後の運営を含めて問う。また、連携機関の人材を育成するため府の取り組みはどう進めるのか。

答弁 ワンストップ支援センターへの診療機能を併設する。性被害者の多様なニーズに対応し、総合的なケアを提供するSANEについても重要だと認識。今年度から国の交付金を活用し養成プログラムの受講料の補助制度を創設した。



ふるさとの誇りを未来へ 飯盛城跡の保存と活用を支援

質問 地元史跡飯盛城跡の今後の整備に向け今後の保存、活用の取組みに対し、どのように支援していくのか取組みについて伺う。

答弁 府教育庁といたしましては、今後とも、大東市・四條畷市において適切に整備を進めていくことができるよう、整備等にかかる会議にオブザーバーとして参画し助言を行うとともに、国庫補助金の獲得に向け国と調整するなど、積極的に支援してまいる。



府政に関するご相談はお気軽にどうぞ!

うつみ久子府政相談所 大東市野崎1-17-45-107
TEL: 072-812-2487 / FAX: 072-812-2894



SNS発信中!

